

IBM Turbonomic は、アプリケーションをビジネスのスピードに合わせて動作させ、データセンターとパブリッククラウドの両方でパフォーマンスを確保しながら、同時にコスト効率を最大化します。また、これにより、不足しがちな IT 人材への負担を軽減します。

企業は運用の最適化とコスト削減を実現しながら、社内ユーザーと外部顧客に迅速かつ信頼性の高い体験を提供する上で、アプリケーションリソースの管理に真剣に取り組む必要があります。¹ モダンでレジリエントな運用では、確立された手法に基づき、その手法をデータと自動化によって改善することにより、顧客へのフォーカスを強化することが可能になります。この新たな方向性は、テクノロジーを活用した運用がビジネスの成功要因として確実に認知される上で必要なものです。²

Forrester Consulting は IBM の委託で Total Economic Impact™ (TEI) 調査を実施し、[IBM Turbonomic Application Resource Management](#) の導入で実現し得る投資収益率 (ROI) を推定しました。³ 本調査の目的は、IBM Turbonomic Application Resource Management が企業に与える潜在的な財務的影響を評価するためのフレームワークを提供することです。

この投資の利益、コスト、およびリスクについてさらに理解を深めるため、Forrester では、IBM Turbonomic Application Resource Management の使用経験を持つ顧客企業 5 社に対して、聞き取り調査を実施しました。Forrester は、調査対象となった意思決定者からのデータを集計し、財務分析のベースラインとなる結果を、1 つのモデル組織の回答としてまとめました。

投資の推進要素

インタビューした組織に共通してみられた課題には以下のようなものがありました。

- **オンプレミスインフラとパブリッククラウドコストの増大。** インタビューした各企業はオンプレミス、パブリッククラウド、コンテナおよび/



投資利益率(ROI)
471%



正味現在価値 (NPV)
1,316 万ドル

またはハイブリッド環境などで、ビジネスに不可欠なアプリケーションを運用していました。アプリケーションの保有と、その結果生じるリソース利用の要件が拡大するにつれ、インタビューした顧客企業では、アプリケーションを維持するコストの急増があったと回答しました。米国所在の保険会社の回答者は、企業の「セルフサービス」リソース活用要件のこうした課題について次のようにまとめています。「ユーザーと開発者は、特定のリソースに仮想マシンの利用を申請しますが、10 回のうちの 9 回は、選択肢の中で最大サイズを選択していました。これがコストを増大させていました。」

- **頻繁に生じるアプリケーションのパフォーマンス低下。** 聞き取り調査の対象企業では、ビジネスに不可欠なアプリケーションにおけるコスト増大の影響を感じており、リソース不足のアプリケーションによるエンドユーザー、最終的な顧客および関連業務の成果に影響が及んでいました。アプリケーションのリソースが可視性を欠いていたことも、一部のワークロードに対する過剰供給が生じ、コスト問題に繋がっていました。IT スタッフはベストエフォートで対応していましたが、全アプリケーションでパフォーマンスの最適化に必要とされるリソースのプロビ

ジョニングとスケーリング業務が多すぎました。IT部門は業務に追われ、アプリケーションが非効率であるということが常態化していました。

- **ITチームの人員不足に起因する遅延。**インタビューした企業では、ITスタッフの努力にもかかわらず、インフラストラクチャーおよびクラウドのプロビジョニング作業、アプリケーションのリソース割り当て、関連サポートタスクの増大で、ITチームは業務に追われていました。さらにこのようなスキルを持つ人材が労働市場では不足しているため、既存のリソースの増員または補填が困難になっていました。

主な成果

インタビューの結果によると、モデル組織が達成する主な成果は以下のようになります。

- **オンプレミスインフラの経費を年間30%近くまで節減。**過剰なワークロードを適切な規模に調整し、アプリケーションのリソース活用レベルが適正化されたことで、調査対象の企業では更新が不要となり、より正確かつ低コストなインフラのプロビジョニングを実行することで、そのコストを節減することができました。
- **パブリッククラウドの消費量の削減で経費を33%節減。**IBM Turbonomicの導入をパブリッククラウドのワークロードにも拡張した結果、一部の企業は、動的なスケーリングと、より効果的なリソースプランニングを通じて経費を大幅に節減できました。パブリッククラウドの経費を年間100万ドル以上節減した企業もありました。
- **IT部門で、一人当たり毎月50時間を超える業務時間を短縮。**インタビューした企業は、IBM Turbonomicの導入以降、アプリケーションのリソースプランニングや調達、サポートなどの業務で常に多忙であったITスタッフの業務効率が大きく改善されたと回答しています。IBM Turbonomicにより可視化と自動化の機能が改善されたことによって、企業はITスタッフの業務時間を著しく節減し、それまで、どれだけIT人

員を投入しても不可能であったであろう結果を出すことに成功しました。

- **年間250万ドル以上のビジネス・メリットを実現。**IBM Turbonomicによって、内部ユーザーおよび外部顧客にリソースとパフォーマンスが向上したビジネスに不可欠なアプリケーションが提供されたことでビジネスの成果が改善しました。
- **ITスタッフの従業員体験の改善。**大規模なソフトウェアによってのみ実行可能な対応的作業の多くを自動化することにより、ITスタッフは多くの時間をイノベーションに注力し、サービスの展開を迅速化することができます。
- **市場投入までの期間と収益面の影響。**ある調査対象者は、アプリケーションのパフォーマンス向上により企業の収益力と、市場投入までの時間短縮という効果があったと述べています。
- **可視性の改善。**すべての回答者が、IBM Turbonomicでリソース要件が可視化されたことに関する利点を強調しました。
- **環境面の持続可能性。**Forresterが聞き取り調査を行ったすべての企業で、データセンターとパブリッククラウドの一方または両方で、アプリケーションリソース消費が最適化されていました。Forresterの調査結果からは、企業の長期的なエネルギー使用量プロフィールの最適化などが挙げられています。

「Turbonomicでリソースの無駄を無くしコストを節減できただけでなく、重要なアプリケーションの稼働も改善されました。以前はアプリに問題が発生していたことすら知らなかったのです。」

保険会社の上級テクニカルアーキテクト

TOTAL ECONOMIC IMPACT の分析

詳しくは、本調査の全文「[IBM Turbonomic Application Resource Management の Total Economic Impact™](#)」をダウンロードしてください。この調査は、Forrester Consulting 社が IBM Turbonomic の委託を受け、2022 年 1 月に実施したものです。

調査結果

Forrester は、IBM Turbonomic プラットフォームの使用経験を持つ組織の意思決定者 4 人に聞き取り調査を行い、その結果をモデル組織の 3 年間の財務分析にまとめました。リスク調整後の現在価値(PV)の定量的利益には、以下のようなものがあります。

- オンプレミスインフラ経費節減
- パブリッククラウドの経費節減
- IT 管理者の生産性向上による経費節減
- アプリケーションのパフォーマンス向上によるエンドユーザーの業務側面の利益



投資利益率(ROI)

471%



正味現在価値(NPV)

1,316 万ドル

付録 A : 脚注

¹ 出典: 「インフラ自動化の成熟度を評価する」 Forrester Research, Inc., 2020 年 7 月 17 日。

² 出典: 「最新の復元力のある運用のビジネスケースを構築する」 Forrester Research, Inc., 2021 年 8 月 2 日。

³ Total Economic Impact は、Forrester Research が開発した手法で、企業のテクノロジーに関する意思決定プロセスを強化し、ベンダーが自社の製品やサービスの価値を顧客に伝えることを支援するものです。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やその他のビジネス上の主要な利害関係者に対して、IT イニシアチブの具体的な価値を説明し、根拠を示し、実現に役立てることができます。

開示事項

以下の点に注意してください：

- 本調査は IBM Turbonomic の依頼により、Forrester Consulting が実施しました。本文書は、競合分析を意図するものではありません。
- Forrester は、他の組織が受ける潜在的な ROI については、一切想定を行っていません。IBM Turbonomic へ投資する際の妥当性を判断するには、本調査報告で提供されているフレームワークに、ご自身の予測を適用することを強く推奨します。
- IBM Turbonomic は本調査の報告内容を確認した後、Forrester にフィードバックを提供しました。ただし、本調査の内容と結果の編集権限は Forrester が有しており、Forrester の見解と矛盾する変更や、調査の意味を曖昧にする変更は認められていません。
- IBM Turbonomic は、聞き取り調査を行う顧客企業名を提供しましたが、聞き取り調査には参加していません。

TEI について

Total Economic Impact™ (TEI、総経済効果) は、Forrester Research が開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値を顧客に提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やその他のビジネス上の主要な利害関係者に対して、IT イニシアチブの具体的な価値を説明し、根拠を示し、実現に役立てることができます。TEI 手法は、投資価値を評価する「利益、コスト、リスク、柔軟性」の 4 要素で構成されています。

© Forrester Research, Inc. 無断複写・複製・転載を禁ず。Forrester は Forrester Research, Inc. の登録商標です。

FORRESTER®